

# 官民一体で新規就農支援へ

県農林部 部長  
福谷 健夫氏

大和信用金庫 理事長  
森川 善隆氏

農業生産法人和創 会長  
西野 光泰氏

# 近代農業の認識拡大へ 熱意ある人材発掘必要 就農者のニーズつかむ

人口の減少にもつながつて、歓喜を増していくように感じます。西川さんはどのように熱意をもつて農業に取り組む人がいるように感じます。西川さんは、新たに農業への興味を持つマインドを挙げることです。また、熱意のある人を発掘することも必要な要素かと思います。金融機関も就農を学び、経営をアドバイスできる農業経営者を育成することによって、事業者に対してもアドバイスを送ることも可能になります。一方で、新規就農は簡単ではないようです。補助制度を組むことができます。

ソーラーシェアリングは、ソーラー設備の初期投資が大きく、余裕のある返済プランで助かります。この2年間、高設式の砂耕栽培に取り組み、年8回の収穫と女性でも作業ができることがあります。そして作った野菜が市場でも一定の評価を得ていること

が、新規就農者のニーズをつかむ」とも大切だとおもいます。また、奈良県においては、新規就農者が直面する問題としては土地の確保です。大都市近郊ということで土地バブルの頃よなことはないとしても、父祖伝来の土地と言いながら、値段を上げないと譲ってもらえないようです。就農環境を整備することも大事ですが、さきほど話があったように、熱意がないと、和創さんは農業の多角化を進めていますが、目指す農業を教えてください。

西野 今はまだ栽培面積が少ないですが、今後はもっと増やしていくことを考えていました。

一上と下で収入が得られるソーラーシェアリングは、県の農業発展をめざし、連携が大事という意見で、

トする制度もありますが、基本的な考え方になつています。事業者も、私どもも先のことは分からぬのですが、行政も交えて一体となつて前向きに考えることが成功につながると思います。

和創さんは農業の多角化を進めていますが、目指す農業を教えてください。

西野 今はまだ栽培面積が少ないですが、今後はもっと増やしていくことを考えていました。

行政や金融機関もシェアリングの在り方として特別な枠組みを作っていただけたらとも思っています。

一上と下で収入が得られるソーラーシェアリングは、

いました。当金庫は「地域密着」を大きなテーマとして掲げて今日に至っています。地域の方々のニーズに応えるのが当金庫の使命であり、2年前、理事長に着任してから、企業であり、実態把握はもちろん、フェイスツー フェイスで付き合ってき

一大和信用金庫の企業育成の基本的な考え方を教えてください。

森川 県内で事業をさせていただき、今年で70年

一和創さんの農業はべつかりつかみたいと考えています。いずれにしても金融支援でどれだけ役に立てるのか。その思いで取り組んでいます。

いており、ノウハウをしつかりつかみたいと考えています。いずれにしても金融支援でどれだけ役に立てるのか。その思いで取り組んでいます。

西野和食は電気工事  
和創の西野さんの計画を  
知り、お手伝いができる  
ばと一緒に考えてきました。  
た。金融支援の面で様々  
な施策を展開している日  
本政策金融公庫とも連携  
して、借入金を減らす手  
法などを教えてもらいました。  
そこで、西野さんと西野和食の  
相野菜を送つていい値段  
をつけてもらう。それが農  
家の所得になつて返っ  
てきます。あと、女性が農  
業に参入できるように、  
また、子供たちの就学費を

農業」「農業進むなかで、官民一体となりをサポートするといふべきである。奈良の農業は規模が小さいとはいえ食料需給を担う重要な分野として行政も前向きに取り組んでいます。その方向性に賛同すべしとするかを連携し、行政も入っていきながら、一緒によりよい農業をつくっていくべきだと考えております。

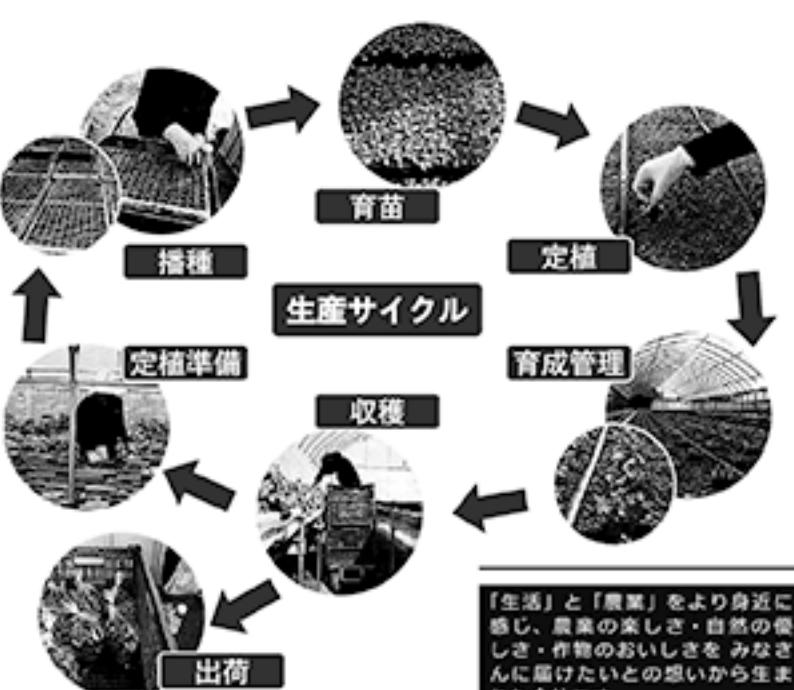
和創さんが農業の収入に至る経緯を教えてください。



## ■ 作業性

## ■ 生産管理

- 自動点滴灌水装置で生産管理が容易。
- 培土は天然砂のみで保水性が高く、液肥、水を節約。
- 砂の特性により、最適な根圏環境を保持。  
連作障害が殆ど発生せず(年1回の砂培地洗浄でOK)  
同一作目の高回転生産が可能。
- 露地土耕栽培のような土づくりが不要。
- 技術開発企業の本業(建設業)で培った高設ベッドの強度計算、重量対応性、水平保持等のチェック能力により、養液のムラの無い安定した高設ベッドを実現。
- その他 砂の最適な根圏環境により、葉菜類、茎菜類、根菜類、花など、多種多様な作目栽培が可能。



## 高設式砂耕栽培

弊社では農業の未来への可能性を高めるため、培地を土の代わりに砂とし、窒素やカリウムなどを配合した液肥を注いで野菜を育てる農法『高設式砂耕栽培』を農場で行っております。またこのシステムを導入する事によって土地を耕すといった労力を不要らず、植え付けや収穫といった軽作業の効率化を図る事が可能です。砂耕栽培は農床の構造・砂の選定・液肥の混合と希釈度・苗の育成などの重要なノウハウがありますが、当社は販路までをも確保し、適理出来る農業の基盤を固めております。

農業生産法人 株式会社  
良樂奈良市中町 4207  
TEL0742-48-4188 FAX0742-44-4188  
[oretore@oyasai-nara-wasou.co.jp](mailto:oretore@oyasai-nara-wasou.co.jp)